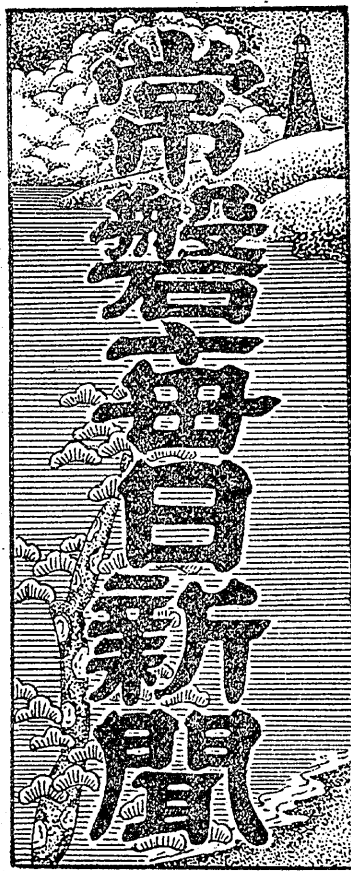


【刊夕】日五月八



定額一圓二錢五分 郵費五錢 印刷費一圓二錢五分 廣告費一圓二錢五分 零售每份五分 訂費一圓二錢五分 印刷所 常磐新聞社 印刷所 常磐新聞社

國民經濟生活の退歩

石井生

星遷り年變るに伴ひ、吾人の生活状態も共に異常な發達を遂げ來つたものである。太古に於ける吾が國民生活は極めて單調であつたけれども人智の向上發達は遂に現在の如き状態となつた。

然し乍ら、目下に於ける帝國國民の一般の經濟的生活は如何なる状態に於て、亦如何なる地位に立つて居るや、之は仔細に論究したならば制限がない、余は之を毎日の生活を論據として論じてみたい、即ち如何なる時代にも多かれ少かれ、不景氣は皆無といふ事象は先づない、然し尙現内閣の如くに政策の方針が消極的結果はつひに吾人の生活が、日に縮んで行く、徒に吾が善良なる國民をして失業させるの結果は、路頭に迷はせ十分に人をして意の如くに働く機會を與へない、産業經濟は向上發達せず社會は各方面とも沈滞し、つひに國民一般の經濟生活の退歩となるのである、是れ

實に政策殊に經濟方面の方
法惡しき爲めと考へる。

さきに六月一日を以つて實施した官吏の減俸の如きも、洵に事宜に適した政治なるや否やの根本問題は別とし、われわれの直覺では一面に於ては物價下落を口實として、世人をあざむき豫算の關係と農村人の歡心を買ふ目的であるらしい、而も官吏の減俸の如きは益々國民の購買力を少くするもので、今より一層不景氣を深めるの因をなすものであると余は考へる。

言ふまでもなく世界不況に處する日本帝國は世界の現經濟現象を考察して、之に善處する手段と方法を講じ、最も國民生活に適する政治を施すのが政治家の役目であり、政治の目的もそこにあり向上もそこにある之に反する行動は即ち經濟生活の退歩となる現内閣の行動は之である。



新人の悩み

松原孤舟

新人の悩み……こうした

ものが、私にもあるのでは
うか？ 靜かに眠つてゐるか
のやうな私の胸には、少し
のさめさめもなないかのやう
に想ひますが……よぼくれ
煩悶！ふらふらとした悩み
！これが凡ての新人だとす
れば、寂しいぢやありませんか？

私は現實を謳歌しようと思
はねば、敢て現實に沈
痛な悲哀をも感じません、
私は、たゞ私の運命の繩に
びつたりとくつゝいて、行
ける處まで覺束ない足を運
んで見ようと思ひます。

綴方欄

夏の或日

平第一小學校 小野勝三

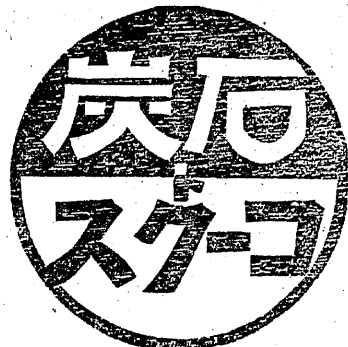
いよいよ夏になりました。
てふてふやとんぼは、うれ
しそらに花から花へ、はち
は花のラッポのやうにひら
いてゐるところに、くびを
いれて、ぶん／＼いつてゐ
ます。てふてふは、ひらひ
らかはいらしい羽をひろげ

て、用ありさうに花の所へ
よつてきます。
とんぼは草や木にとまつて
目をきよらさせてゐます、
僕はそれを見たとんだか
とりたくなつてしようがな
い、とろうとする、お使
にいつてきてといはれる、
かけ足で行くと、とんぼや
てふはにげてしまふ、あせ
を流し流し、いそいでかへ
つてきてみると、てふてふ
もとんぼもゐなくなつた
る。

おもしろくないので、にが
いで本をよんでゐると、あ
せが流れて、せなかがかゆ
い、はだかになつて本をよ
んでゐた。するとさむくな
つてしまつた、こんどはし
やつをきて、ボールをかべ
になげつけ、はねかへつて
くるのを、うけてゐると、
又あせが流れる、しやつが
せ中へびたりとくつゝいて
しまふ。又はだかになつた
そしてべんきやうをしてゐ
ると、かあちゃん「そんな
なにあついたら、こうり水
をのみなさい」といひまし
た。僕はこうり水をのんで
きた、こんどはすつかりす
べしい、すべしい。「これな
らだいいやうぶだ」といつ
てべんきやうにとりかゝつ
た。

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町
電一七〇



ナールほど、是レハ良イ石炭ダ
良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ
聞イテ居タガ！
此レ程良イ石炭トハ

モシ電話二三七番デスカ
早ク一俵御届ケ下サイ
平停車場前

阿部石炭商店

配達ハ一俵ヨリ致シマス

思ハンカツタ
品ガ良ク
値ガ安ク
經濟的ニハ正ニ
百パーセントダ

開く……
店内の照明装置等總べてウルトラモダン

氣分第一。味覺本位

華麗な
ウエイ
トレス
のサー
ビス振
り正に
エロー
を自負

藤彦

(電 394)

うな井 0.50

平田町(錦水隣り)
魚 榮
電 424

時計 眼鏡

ト キ ワ ヤ
平一・電三三九

吉田眼科病院
平田町、電話六八番

軽快な夏服の
季節となりました。
スマートな新製品が
豊富に取揃へて
御座ひます。

●輕装上衣
黒セル…… 3.50
カシミヤ… 7.80
●白直衣
1.40
●ツボン
白セル 2.30
パンピス 2.50

平二あかや洋服店 電203

愛讀者への奉仕

川崎小鳥著

満州土産談

四六版二百數十頁

近々出版

◇月極讀者に無代進呈◇

本紙連載の川崎本社社長執筆「満州土産談」は前後百回に亘り、満州を鋭利な観察眼に依つて、あらゆる方面より、縦横に解剖し、軽妙な筆致は、よく其の實相を捉え來つて餘す處なく、眼前に展開しました。本社には各方面の求望に鑑み、茲に多大な犠牲を拂つて、單行本となし日頃の御後援に酬えん爲め、讀者諸君に「洩れなく無代進呈する事」となり、目下印刷中であります。今や日支兩國間の交渉往來益々緊密なるに當り、満州の近情を明らかに知る事は、轉じて我が國運の歸趨を卜すに足るべく、從つて國民必讀の文字は此の好著の全幅に飛躍して居ります。御期待を願ふと同時に本社の微衷を諒せられよ！

水戸平間進行中 列車に怪盜

眠りこけた旅行者を襲ふ
一週間に一度は必ず出現
魔の列車の恐怖

常磐線上下野驛發、青森行急行列車は午前三時十分平驛に到着するが丁度此の列車が水戸から平への進行中、眠りこけて居る乗客の貴重品 専門の怪盜が出没し、同列車は常磐線の魔の列車と呼べるに至つた、不思議なことには此の怪盜は二〇一列車に限られて居り一週間に一度は必ず出現するが水戸、平、仙臺などの移動

警察網を巧に脱れて依然被害は増加するばかりで其筋の調べに依ると

被害は七月一日來既に廿數件、最近では去る卅日日本橋區小舟町一の三株式會社久保田商店社員榎本守(三)が同列車で東北地方へ向ふ途中、洋服の内ポケットから現金百廿圓入黒皮二つ折財布をいつの間にか盗まれ數日前には市外澁谷町南平臺三

一山田兵三氏が新宿、根室間三等切符と現金百餘圓在中の財布を盗まれた被害はいづれも現金や貴重品在中の小型トランクが多い、疲れやすい夏の旅行者をねらつて現れた怪盜の頭の働きには鐵道當局も大弱りて逮捕に努むる事になつた由

これは時期の關係等よりおくれたもので今後續いてこれが督勵指導をなす筈だが目下のところ以常に好成绩を収めてゐると

石城郡高久村下高久矢吹章方で夏蠶八貫目を收購したので三日平町の商人と一貫目二圓五十錢の割で本郡下で最初の取引をなした蠶種は百十號に百五號の交配種専用桑園によつた結果光澤糸目はひ常によかつた

石城郡小川村下畑廣の稻熱病は昨報の如く農會橋本技手、木名瀬穀物支所長が視察した結果被害を受けた下畑畑半部繁治方の七段歩及同村二三はいづれも發見が早かつた爲回復する見込で糖密ボルド四斗式液を撒布する事になり明日全村に施行する筈であるが尙此の以外に磐崎村にも發生したとの報告が農會に來たので下火になつた稻熱病が再び擡頭したのではないかと憂慮されてゐる

平町職業紹介所七月中の紹介状態調によれば求人男九十三、女九、求職男百四十五、女八その内就職したる

平町役場の 平町助 庶務係補充 役酒井 寅之輔氏の就任に伴ひ庶務係主任の補充は順位からすれば學務主任佐藤玄太郎氏収入役代理西野源次郎氏となつて居り伏見町長は目下考慮中

米價益々高値 一俵十六錢高 穀物検査平支所の調査によると四等米は本月一日迄一駄に付十五圓一俵七圓五十錢の値段だつたが五日同支所への報告では一駄十五圓三十二錢一俵七圓六十六錢で一俵十六錢の高値を呈して居ると

淺野はなぜ百萬圓 寄附を拒絶したか 壯一生 投

こんな不始末を出した外一般經濟界の不振が影響したせいもあるから、淺野翁の放漫經營だとばかりは一概に言へないかも知れない翁の晩年頃になつてからは、淺野財團の淺野セメントや淺野造船、磐城炭礦をはじめ各關係事業の殆ど全部が左前と云つてもよいや

うな状態であつた。昨年死ぬ前、歐米漫遊に行つた裏には、淺野家の米櫃と迄言はれ全力を傾注してゐる資本金壹億東洋第一の淺野セメントは、翁の放漫經營がたゞり、業態が極度に悪化し、根本的整理をなすため、翁を歐米漫遊に追ひやり留守中整理をするためだと噂された。

何かの如く淺野の關係事業の内容が頗る悪く資金難に陥つてゐる矢先、百萬圓の寄附等は到底出來難いのかも知れない。

淺野の百萬圓寄附は、東京の富豪が公會堂建設に百萬圓寄附したとか、帝國圖書館に二百萬圓寄附したのと同じ寄附でも性質が非常に違つてゐる、交通條件附の寄附で築港完成の上は埋立地と岸壁の使用權を與へられてゐる言は、變態的投資とも言ひ得るのである決して損のない寄附であるにも關ずこれを拒絶した淺野家の懐工合はよく苦しいと見える。

平町人事 出 生 三丁目三六 橋本仁三郎氏長女淑子

滿鮮土産談(112) 川崎小鳥

滿洲に於ける朝鮮人が 毎日に支那人の壓迫を蒙り生活の脅威を感じて居る事は、前にも述べた通りであるが、朝鮮では上下を擧げて大問題として論議され、鮮人團體が各所に催す演説會のピラが街頭に張り出されて、既に其時から今回の鮮支人争鬭の險惡な空氣をばらんで居た。

淺野の百萬圓寄附は、東京の富豪が公會堂建設に百萬圓寄附したとか、帝國圖書館に二百萬圓寄附したのと同じ寄附でも性質が非常に違つてゐる、交通條件附の寄附で築港完成の上は埋立地と岸壁の使用權を與へられてゐる言は、變態的投資とも言ひ得るのである決して損のない寄附であるにも關ずこれを拒絶した淺野家の懐工合はよく苦しいと見える。

平町人事 出 生 三丁目三六 橋本仁三郎氏長女淑子

滿鮮土産談(112) 川崎小鳥

滿洲に於ける朝鮮人が 毎日に支那人の壓迫を蒙り生活の脅威を感じて居る事は、前にも述べた通りであるが、朝鮮では上下を擧げて大問題として論議され、鮮人團體が各所に催す演説會のピラが街頭に張り出されて、既に其時から今回の鮮支人争鬭の險惡な空氣をばらんで居た。

平町役場の 平町助 庶務係補充 役酒井 寅之輔氏の就任に伴ひ庶務係主任の補充は順位からすれば學務主任佐藤玄太郎氏収入役代理西野源次郎氏となつて居り伏見町長は目下考慮中

米價益々高値 一俵十六錢高 穀物検査平支所の調査によると四等米は本月一日迄一駄に付十五圓一俵七圓五十錢の値段だつたが五日同支所への報告では一駄十五圓三十二錢一俵七圓六十六錢で一俵十六錢の高値を呈して居ると

淺野はなぜ百萬圓 寄附を拒絶したか 壯一生 投

各署を掃除して

歸京の旅を續く

工事中止で困った二人

昨日午前十一時平警察署内を前掛半天姿の労働者二人が署内を拭掃除して居たが此者は東京府下南千住四丁目石工笠谷音松(三)神奈川縣川崎市土工、山田金一郎(五)の兩名で七月頃頃仙臺市宮城縣廳の工事場で働いて居た處全工事を終らぬうちに中止となつたので東京へ歸る旅費に窮し仙臺、中村、浪江、平の順路で警察署を廻り各署内で拭掃除をして歸京の旅を續けて來たものであると

東京に憧れ

三少女が逃亡

石城郡内郷村大字綴宮本祭吉次女ヤス(一)及び同村石田ヨネ(七)及び松川愛子(一)何れも假名の三名は數ヶ月前から神奈川縣平塚町紡績工場の女工として働いてゐたが豫てから東京に憧れてゐた彼女達は去月二十九日夜寄宿舎をぬけ出しその儘上京したが元富士署員に發見され保護を加へてある旨郷里へ沙汰があつた

原審通り判決

證券變造詐欺

額面廿五圓を五千圓に變造した公債證書を擔保として石城郡平町百澤易興から三千五百圓を詐取した相馬郡中村町小泉信(三)外三名の變造有價證券行使詐欺事件

鯉節一樽を

振り落として

自動車疾走

茨城縣那珂郡湊町櫻井増兵衛は先月卅一日宮城縣乙川町で買入た鯉節二樽(時價五十圓)をトラックで輸送中何處かでトラックが外れ鯉節二樽を遺失し其儘進行したが後になつて氣が付き驚

せたので右の鯉節を解り本日湊町の荷主へ送つたと請求されてから實は無一文だよ

平町二丁目大村屋旅館事大村一郎方に七月卅一日から投宿して居る茨城縣猿島郡飯島村生れ目下東京府下王子町豊島三六二浦和福一(三)は投宿以來本月四日迄十二圓十錢の宿料を拂はぬので四日宿料を請求した處實は無一文で東京の友人から送金されるのを待つて居るのだと云つて居るが怪しい節があり平署で目下取調中

討打ち御法度

馬車輓連中の喧嘩

石城郡好間村上好間米穀商神谷兼次郎方雇花馬車輓同村南町中村由一郎(三)同馬場前飛田清五郎(五)同町田齊藤辰雄(五)同北好間板木澤東海林儀三郎(四)の四名は三日夜九時頃同村米穀商神谷商店に暴れ込み駐在巡査に取押られ平署に引致取調中であるが事件の内容は前記四名の同僚たる山口今朝吉が二日午前八時頃此も馬車輓で前記神谷商店の用心棒たる近内始(三)と些細の事から口論となり近内が山口を毆打したので憤慨し前記の如く押掛けた處當の近内が同店の臺所に居たのを發見袋叩きと爲したのであると

小學生の... 縣社子奉納萬燈... 歙神社境内に鎮座する天まん宮の祭禮は七、八の兩日行はれ



明日のラジオ 六日 今晩は南東の風 曇り 明日は北東の風 曇り小雨模様

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間) お話海の衛生山の衛生 醫學博士岡田道一 後六、三〇 東西文學の比較「シルレル、ゲートラ、グネルと諸曲淨瑠璃」一島村民藏 後七、〇〇 全國ニュース (官廳ニュースを含む) 河北新報社ニュース 氣象 通報 告知事項 番組豫告 後七、三〇 水上座談會 司會法學博士末弘嚴太郎 飯田光太郎、田畑政治、高石勝男、野田一雄、上

明日の部

前六、〇〇 ラヂオ体操 前六、三〇 夏期英語講座 「中等科第一講の五」井上思外雄 前九、〇〇 氣象通報 前九、一〇 料理献立「鯉の山かけと佃煮」青井竹子 日用品値段

旅役者の後を追ひ

十七娘が無断家出

小使錢を貯へて

果敢ない女優志願

石城郡小名濱町字米野魚商野崎庄次郎の三女、キヨ子(七)は豫てより女優志願を抱いて居た處數日前湯本に開演中の市川玉之助の芝居を見て一層希望を燃やし歸宅後其費用にとて數日間小使錢を貯へて居るうち一座は湯本を打ち揚げ植田町菊田座に移つたと聞込み昨四日夜十時頃無断で家を飛び出し行衛不明になつたので本日家人から平署へ取押方を願ひ出た

磐銀監査役

債権者會決定

磐城銀行の債権者總集會は四日平町第二小學校に開催の監査役を擧げ債権調査會は九月六日開く事になつた

井上茂作 安齊勝美 門傳清吾 酒井喜代正 若松孝平

神谷氏の研究

明昭文字

平町古銀治町元平銀行主事神谷辰五郎氏の文字改良の研究は依然熱心に繼續され研究發表雜誌明昭文字の第二輯が此程發刊された

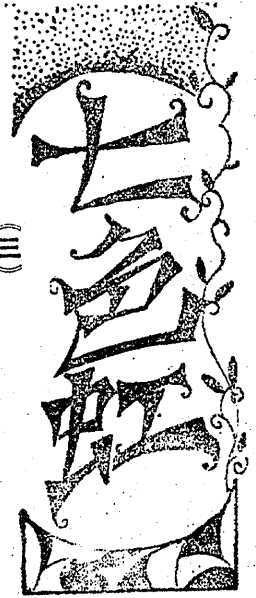
煙草小賣の組合維持費 平町煙草組合では從來組合員より年三圓宛組合費を徴収してゐたがこの不景氣にたとい三圓でも纏まつて出すことは容易でないからと首腦部間で協議した結果小賣店で煙草に添へて出す小マツチを今回から組合が直接マツチ製造業者より購入し若干の利益を得てしかも現在の市價より安く小賣人に販賣せよによつて生ずる利益で組合を維持する事に決定した

平局簡保加入

便局の七月末日現在の簡易保險加入數は一万六千四百三十五口で内新規加入が二百二十七口であるこれを六月の一万六千四百四十四口にくらべて九口の減である主として炭礦不振により他地方へ轉住する者が多くなつた關係でまん期解約によるものであると當局はいつてゐる

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性病 腸虫病 院醫科 村松 町南平 七〇一話電

小説



(三)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

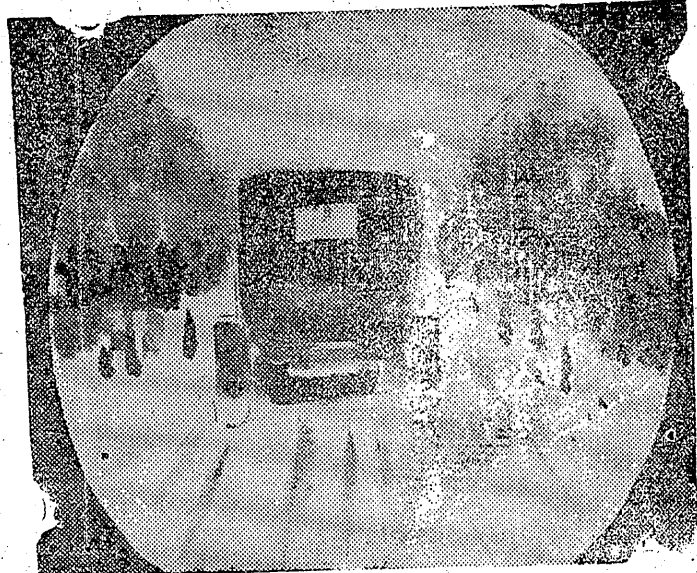
【載轉禁】

「有難うございます」
「ただどお前さんなんか仕合せよ、あんな親思ひのお子さんを待つてるんですもの」
「へえ」
「なあに、それ程ぢやございませんよ」
「其處にいくと私なんか因果よ、兄弟があつてくれるからいゝやうなものゝあの通りの兄さんぢやねえ」
「はつと吐息を洩らした」
「へえ」
「しばらく間を置いてから」
「まつたくですわねお嬢さま」
千代子は黙つて悲しげに目を伏せた。

「まあ、なんでございますよ、お若いうちは仕方がございませぬや、誰にでもあつてからねえ、そのうちには目の醒める時が来ませうよ」
千代子は何にも云はなかつた。大きな息の音を立て、じつと自分の膝のあたりを視詰めた。と被けてある絹織紗の腰掛にいつの間にか砂埃が眞つ白にたまつてゐるのが目についた。
驚いて車窓を開け櫺色の

カーテンを引いてからは俄に薄暗く自分の影を包んだ車の中の光線が、彼女の思ひを一さむ陰鬱な方へと誘つていつた、不快なとゞろきを外に摺違はせる電車や貨物自動車や、ごうと空を吠へてゆく風やさうした

のやうに眠れないのかしら、と先のことまで氣になつて重たく沈みかゝる額をきゆうと指の先でおしつけた。
町角を二つまで曲つたのが、車の中でもよく判つた我家が近くなつたのだ、もう直に下るのだと思ふと何んだか地獄の門が次第に追つて来るやうな忌な感じが衝きあげて、このまゝ歸らずに済むものなら何處ぞ友達の家でもよいから寄道して、しばらくなりとも紛らはしたいやうな氣まぐれな考へも起るのであつた。



慌しい街上の叫喚をさきさきと頭の中に入込まれるごとくに、彼女は前にさしてあるチュウリップの哀れな身ぶるひを自分自身であるやうな心もちで眺めやつた。
この頃から神経衰弱のやうな異常な惱ましさを感ずられたる身の今夜、前宵

のやうにくりかへして嵐に散る一重櫻のほろ／＼と流水に流れてゆく姿や、初ワラビのむせ返るやうな香を夕餉の膳に上して、月に啼く河鹿の歌を欄干近くに聞いた湯の宿のその夜を、うつとりとした思ひの中に描いてゐる時に忽ちばたりと車が停つた。
「お歸り……」
運轉手の小崎が大きな聲で怒鳴る、それが耳に入つて彼女はハッと身づくろいをした、けれども直と立ち出るほどの元氣もなかつた

「あゝ、いやねえ。どうしてあゝ、なんだらう……ほんとに仕様がなないね、氣がくしや／＼して……旅行でもしやうか知ら」
去年學校を出る折にお別れの記念にと卒業生だけ打揃つて、箱根七湯めぐりをしたその折愉快な言葉を夢

季節小節 支那 安兵衛 江戶風味
御試食を
迅速
電話二九四

科人婦・科産
院醫坂井
町田町平
番九五五話電

大河合超特作現代巨豪篇
問題の事實悲劇 有罪? 無罪?
白痴の弟殺し 全十八卷
愛する者の爲めに犯せし罪を果して法は如何に裁いたか?
大河合超特作時代映畫
琴糸路 松尾文人 主演
義士 赤垣源藏
傳外 原作脚色・中水之助・監督・村越章二郎
葉山純之輔・久松玉城・主演
電話の秘密
ユニヴァーサル特作・大活劇ウイリアム
デスモンド氏・アーリン・セデウイック嬢
時節柄入場料大破額……大小金拾錢

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
切斷の苦しみなく……
靈藥 ムテキ
ゆひはれ、やけど、淋病
梅毒、きりきりす、乳はれ
くさ、りうます、その他
其他化膿するもの一切

靈藥 ムテキ
發賣元
阿康藥舖
縣社下古鍛冶町(電話四四番)
米國製藥(無臭)レメドール
有偽物 要注意
丹波博士創製
セキトメ
たんばあめ
ヤケド、ヒビ、其
他ヒフ病一切ス
グキク効力本位
うまくてセキ
ガヨクトマル

婦人用傘特價品提供
ツルヤ
錢十五圓一・圓一・錢十九
電140

館樂聚